

氏名	廣川空美
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第 4234 号
学位授与の日付	平成20年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Impacts of educational level and employment status on mortality for Japanese women and men: the Jichi Medical School cohort study (日本人女性と男性の死亡に及ぼす教育レベルと雇用状況の影響：JMSコホート研究)
論文審査委員	教授 荻野 景規 教授 粟屋 剛 准教授 吉永 治美

学位論文内容の要旨

日本人にとっての社会経済的指標としての教育歴・職業層と、死亡リスクとの関連性について、Jichi Medical Cohort 研究データを用いて検証した。日本全国 12ヶ所の市町村の住民男性 4,301名と女性 6,780名を対象に、約9年間追跡調査した。その結果、教育歴が高いほど女性も男性も全死亡のリスクが下がり、男性にとっては循環器系疾患による死亡率が低下していた。この結果は、年齢が若い人たちにおいて顕著であった。また、男性は、職業を含む他の変数で補整すると、教育歴と全死亡との関連性が弱まることが分かった。男性にとっては、無職であることが最も死亡リスクを高めることを示した。女性にとっては、主婦や無職であることと死亡リスクとの関連性は弱く、仕事が及ぼす健康への影響に性差が顕著であることが明らかになった。社会経済的指標としての教育歴は男女ともに国際的にも共通した影響があるが、職業層については、日本の性役割分担社会の影響があると考えられる。

論文審査結果の要旨

日本人の教育レベルと雇用形態・就労状況が死亡に及ぼす影響について、Jichi Medical School cohort study によるデータから得た 12市町村の住民 11,090名(男性 4,301名、女性 6,789名)を対象に、約9年間の前向き(prospective)調査を行い、次の結果を得た。

- 1) 教育歴が高いほど男女とも全死亡リスクが低く、特に男性では、循環器系疾患による死亡リスクが低かった。
- 2) 無職の男性は、ホワイトカラーの男性に比し、全死亡リスクが高かったが、主婦や無職の女性では、全死亡リスクとの関連性はみられなかった。
- 3) 農林業従事者は、ホワイトカラーに比し、女性では全死亡リスクが低く、男性では循環器系の死亡リスクが低かった。

以上より、本研究は、教育歴や職種・雇用形態が死亡リスクに与える影響およびその関連性について疫学的手法を用いて検証・提示し、死亡リスク軽減に寄与する重要な知見を得た研究であると認められる。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。